

2014 年度後期 授業評価アンケート結果に対するコメント

—社会イノベーション研究科—

社会イノベーション研究科長 手塚 公 登

本年度後期の大学院の学生による授業評価の結果は、予習または復習に関わる以外のすべての項目で平均値が 4.6 以上で、きわめて高いレベルにあると思われる。ただ、ごく少数ではあるが、一部の項目について低い評価をつけている学生もみられるので多少の改善の余地はある。大学院の授業は、少人数で行われ、自らの専門に近い科目を選択するので、総体的に高い評価が与えられるのは、ある意味当然なのかもしれないが、今後ともこうした高評価が維持できるよう個々の教員は慢心することなく、授業改善にむけて努力を継続していく必要がある。